

4 協会の歩み (活動状況)

4 協会の歩み（活動状況）

（1）協会の概要

1969年（昭和44年）12月に協会設立以来、勤労青少年健全育成のために様々な事業を行ってきました。

ア 勤労青少年の国際交流事業

昭和45年に第一陣を韓国に派遣、その後、西ドイツ、オセアニア、メキシコ、カナダそして主にアメリカに計27回派遣し、参加した団員は全国で7百数十名にも及び、表敬訪問、職場研修、ホームステイ、ボランティア活動等を行い、訪問国との親善を深めつつ多大の成果を収めてきました。参加した団員はいずれも各県を代表する若者で、国際感覚を身につけ、職場又は地域社会で大いに活躍しています。さらに、3箇所の子どもの出身町がホームステイ都市と姉妹都市提携し、毎年青少年の交流を重ね、20年にわたり親交を深めています。

イ フィランソロピー（社会貢献活動）の普及推進事業

平成6年度からフィランソロピーシンポジウム、講演会や体験米国派遣を開催し多数の方々に御参加いただき好評を博してきました。

ウ 次世代育成支援事業

「当協会設立の理念」、「勤労青少年の国際交流事業」、「フィランソロピーの普及推進事業」を踏まえ、かつ、世情にかんがみ、次世代育成に的を絞って平成15年度から本事業を推進、成果をあげています。

①講演会

次世代を担う若者の内面的成長を目指します。参加者が講演会の成果を仕事及び人間形成に活かし、さらには、ステップアップするきっかけづくりとすることを目指して実施しています。

②海外派遣

平成16年度から、海外でのホームステイ、ボランティア、語学研修等、様々な生活体験プログラムを企画、実施しています。



原先生と訪日されたセントメリーズ市御一行

(2) 協会設立の動機

原 健三郎が米国へ留学していたころ（1931～37）は、既に日米関係が険悪化していました。帰国後、一介のジャーナリストとして訴えた無謀な戦争停止への呼びかけは投獄の対象にもなりました。

戦後（1946）衆議院議員になり痛感したことは、青少年時代に“彼を知り、我を知る”国際感覚を身につける必要性でした。

労働大臣を再任されたのを機に、個人で留学不可能な勤労青少年を海外に派遣して他国を肌で感じ、市民交流の糸口になってもらおうと財団法人勤労青少年協会（厚生労働省許可）を設立しました。

以来約700余人の若者に派遣の機会を与え労働外交に寄与してもらいました。さらに、社会貢献活動の促進を図るため、ボランティア活動の先進国アメリカに体験派遣団を送り、その道を拓きました。

今後は、次代を担う若者の留学事業にも力を入れたいと考えています。ホームステイ、ボランティア等の市民交流を通じて国際感覚を身につけ、これからの社会を支える若者が育ってくれること切に願っています。

当協会の交流事業がきっかけとなり、姉妹都市も誕生し、交流事業を継続していることも申し添えておきます。

姉妹都市

兵庫県北淡町（現淡路市）と
オハイオ州セントメリーズ市

兵庫県南淡町（現南あわじ市）と
オハイオ州セライナ市・バンワート市



原 健三郎

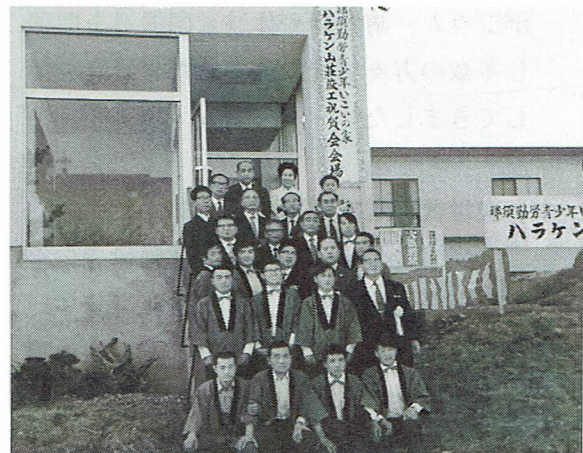
原 健三郎 経歴

昭和6年3月 早稲田大学政経学部卒

昭和12年 米国コロンビア大学修了、
オレゴン大学院卒
マスター・オブ・アーツを受ける。

昭和21年4月 衆議院議員当選（連続20回当選）
労働大臣（2回）
北海道開発庁長官・国土庁長官
第65代 衆議院議長

平成16年11月6日死去



ハラケン山荘竣工祝賀会会場にて（昭和47年）

(3) 勤労青少年の国際交流事業

年 度	勤労青少年親善派遣団訪問国	海外派遣勤労青少年交歓全国大会開催地
昭和45年度	第1回 韓国 (19名)	
昭和46年度	第2回 西ドイツ (25名)	
昭和47年度	第3回 アメリカ (30名)	
昭和48年度	第4回 オセアニア (30名)	
昭和49年度	第5回 カナダ,アメリカ,メキシコ (30名)	第1回 那須高原「ハラ・ケン山荘」
昭和50年度	第6回 アメリカ (30名)	第2回 那須高原「ハラ・ケン山荘」
昭和51年度	第7回 カナダ,アメリカ (30名)	第3回 那須高原「ハラ・ケン山荘」
昭和52年度	第8回 アメリカ (30名)	第4回 那須高原「ハラ・ケン山荘」
昭和53年度	第9回 ヨーロッパ (30名)	第5回 那須高原「ハラ・ケン山荘」
昭和54年度	第10回 カナダ,アメリカ (30名)	第6回 那須高原「ハラ・ケン山荘」
昭和55年度	第11回 アメリカ (30名)	第7回 那須高原「ハラ・ケン山荘」
昭和56年度	第12回 アメリカ (30名)	第8回 那須高原「ハラ・ケン山荘」
昭和57年度	第13回 アメリカ,カナダ (30名)	第9回 淡路島「若人の広場」
昭和58年度		第10回 那須高原「ハラ・ケン山荘」
昭和59年度	第14回 アメリカ (30名)	第11回 那須高原「ハラ・ケン山荘」
昭和60年度	第15回 アメリカ (30名)	第12回 那須高原「ハラ・ケン山荘」
昭和61年度	第16回 アメリカ (30名)	第13回 淡路島「若人の広場」
昭和62年度	第17回 アメリカ (30名)	第14回 那須高原「ハラ・ケン山荘」
昭和63年度	第18回 アメリカ,カナダ (30名)	第15回 八ヶ岳, 清里「清泉寮」
平成元年度	第19回 アメリカ (30名)	第16回 神戸元町「金閣」
平成2年度	第20回 アメリカ (30名)	第17回 大阪茨木市辨天宗信者会館
平成3年度	第21回 アメリカ (30名)	第18回 奈良県社会教育センター かつらぎ
平成4年度		第19回 千葉厚生年金休暇センター
平成5年度	第22回 アメリカ (22名)	第20回 淡路島「ひがしうらサンパーク」
平成6年度	第23回 アメリカ (13名)	第21回 那須高原「ハラ・ケン山荘」
平成7年度		第22回 静岡厚生年金休暇センター
平成8年度	第24回 アメリカ (12名)	第23回 仙台市・茂庭荘
平成9年度		第24回 京都・亀岡ハイツ
平成10年度	第25回 アメリカ (15名)	第25回 神戸ハーバーランド明石グリーンヒルホテル
平成11年度	第26回 アメリカ (15名)	第26回 東京晴海グランドホテル
平成12年度	第27回 アメリカ (12名)	第27回 滋賀厚生年金休暇センター
平成13年度		第28回 湯河原厚生年金会館
平成14年度		第29回 東京ホテル浦島
平成15年度		第30回 ファーストグリーン赤根崎リゾート
平成16年度		第31回 新宿ニューシティホテル
平成17年度		第32回 淡路島国際ホテル・アレックス
平成18年度		第33回 TOKO HOTEL
平成19年度		第34回 ホテル京阪京都
平成20年度		第35回 大阪 HOTEL NCB
平成21年度		第36回 東京八重洲富士屋ホテル

(4) フィランソロピー（社会貢献活動）の
普及推進事業

ア シンポジウム&講演会

①平成7年2月13日

(大阪コスモ証券ホール)

講演:

「アメリカ社会の魅力と活力の源泉」

講師 神奈川大学経営学部教授

松岡 紀雄

パネルディスカッション:

「兵庫県南部地震支援活動に
おける今後の対応と課題」

②平成8年2月14日(東京ウィメンズ

プラザ(以下開催場所同じ。))

講演:「新しい視点で21世紀に挑もう！」

講師 アメリカンファミリー生命保険

会社会長 大竹 美喜

パネルディスカッション:

「だれでもできるフィランソロピー
(社会貢献)」

③平成9年2月13日

講演:「日本型フィランソロピーを
検証する」

講師 三菱電機アメリカ初代社長

渡邊 一雄

パネルディスカッション:

「21世紀社会と企業の役割」

④平成10年2月13日

講演:「地域社会に根ざした社会貢献
活動の定着化をめざして」

講師 弁護士・さわやか福祉財団

理事長 堀田 力

パネルディスカッション:

「不況を乗り越えるフィランソロピー」

“元気な企業(人)は社会貢献から”

⑤平成11年2月18日

講演:「21世紀に向けての提言」

講師 東京家政大学教授

樋口 恵子

パネルディスカッション:

「だれでもできるフィランソロピー」

“元気な企業(人)は社会貢献から”

⑥平成12年2月15日

講演:「交化が先頭となる時代」

講師 東京大学教授 月尾 嘉男

パネルディスカッション:

「だれでもできるフィランソロピー」

“生きがいと働きがいのバランスの
ゆくえ”

⑦平成13年2月28日

講演:「ボランティア国際年にちなんで」

講師 長崎純心大学教授

一番ヶ瀬 康子

⑧平成14年2月13日

講演:「VOLUNTEERとして
踏み出す前に」

講師 アメリカパテント大学学長

佐藤 富雄

⑨平成14年10月23日

講演:「May I help you?」

講師 渋谷区教育委員会委員長

蝦名 公子

⑩平成15年3月4日

講演：「災害は忘れた頃にやってくる—
そのときあなたに何ができる？」

講師 NHKアナウンサー
住田 功一



⑪平成16年3月15日

講演：「21世紀・若ものへの支援」

講師 東京巢鴨とげぬき生活館館長
坂口 順治



イ 勤労青少年フィランソロピー
(社会貢献) 体験米国派遣団

第1回	平成6年	10/25~11/8	9名
第2回	平成7年	8/19~8/30	12名
第3回	平成8年	9/4~9/13	8名



講演会風景

(5) 次世代支援育成事業

ア 講演会の開催

①平成15年10月31日

(東京ウィメンズプラザ)

講演：「転機は勝機」

講師 (株)グリーンハウス

代表取締役社長 田沼 千秋

②平成16年10月26日

(東京ウィメンズプラザ)

講演：「揺れる若者の現在」

講師 東京大学社会科学研究所

助教授 玄田 有史

③平成17年2月4日

(渋谷区リフレッシュ 氷川

(以下開催場所同じ。))

講演：「R 25 が活字離れ世代に

支持される3つのヒミツ」

講師

(株)リクルート フリーマガジン

R 25

編集統括 藤井大輔



④平成17年10月25日

講演：「ニートが大人に問うたこと」

講師 東京大学社会科学研究所
助教授 玄田 有史



⑦平成19年2月2日

講演：「若者の就業問題の現状と課題」

講師 独立行政法人労働政策研究・
研修機構人材育成研究担当
統括研究員 小杉 礼子



⑤平成18年2月9日

講演：「人をつくるという仕事」

講師 フリープロデューサー
木村 政雄



⑧平成19年11月9日

講演：「子どもが危ない！」

～メディア漬けが子どもを蝕む～

講師

NPO子どもとメディア代表
理事 NHK放送文化研究所
研究アドバイザー
日本小児科医会子どもと
メディア対策委員会
顧問 清川 輝基



⑥平成18年11月21日

講演：「カウンセリング革命」

講師 臨床催眠心理士 渡辺 照子
臨床心理士 村上 純子
精神科医 門倉 真人



⑨平成20年2月4日

弾き語りと講演：「音楽と共に歩んで
みて」～私なりの選択～

講師 高木 め里



⑩平成20年10月9日

講演：「社会改革と女性の役割」

講師 衆議院議員 猪口 邦子

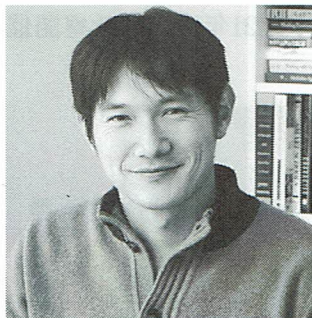


⑪平成21年2月13日

講演：「問題解決力を教える必要性」

講師 デルタスタジオ

代表取締役社長 渡辺 健介



以上の講演会は、厚生労働省、東京都、
渋谷区及び渋谷区教育委員会の御後援を
いただいています。

イ 青少年の海外派遣

平成16年度 2004年8月2日～8月31日
(30日間) (アメリカ・テネシー)

平成16年度 2004年8月30日～9月21日
(23日間) 4名参加(アメリカ・テネシー)

平成16年度 2004年10月13日～2005年
1月7日(87日間)(アメリカ・テネシー)

平成16年度 2005年1月14日～3月7日
(53日間)(アメリカ・テネシー)

平成16年度 2005年2月25日～3月22日
(26日間)(アメリカ・テネシー)

平成16～17年度 ホームステイ・ミドルテ
ネシークリスチャンスクール高校留学修了
(2004年10月17日～2005年5月19日)

平成17年度 2005年5月4日～7月4日
(62日間)(アメリカ・テネシー)

平成17年度 2005年6月26日～8月26日
(62日間)(アメリカ・テネシー)

平成17年度 2005年8月22日～31日
(10日間)(アメリカ・テネシー)

平成17年度 2005年9月4日～30日
(27日間)(アメリカ・テネシー)

平成17年度 2005年9月4日～2006年
3月1日(6ヶ月間)(アメリカ・テネシー)

平成18年度 2006年8月3日～9日
(7日間) 2名参加

(アメリカ・ニューヨーク)

平成18年度 2006年9月6日～12日
(7日間) 2名参加

(アメリカ・ニューヨーク)

平成18年度 2007年2月24日～3月24日
(30日間)(アメリカ・テネシー)

(IEI語学学校・ホームステイ・
ボランティア)

平成16年度～19年度

2004年10月～2007年5月

3年間のアメリカ留学の後、卒業

(MTCS【Middle Tennessee

Christian School】)

- 平成19年度 2007年7月24日～8月21日
(28日間) (アメリカ・テネシー)
- 平成19年度 2007年12月13日～2008年
1月3日(22日間) (アメリカ・テネシー)
- 平成19年度 2008年1月25日～2008年
1月27日(3日間) 12名参加
(中国・上海)
- 平成20年度 2008年7月23日～8月23日
(31日間) (アメリカ・テネシー)
- 平成20年度 2008年7月24日～8月14日
(22日間) 3名参加
(アメリカ・ニューヨーク)
- 平成21年度 2009年7月～8月(予定)
(1箇月間) (アメリカ・テネシー)
(約22日間) 3名参加
(アメリカ・ニューヨーク)

ウ 海外青少年のホームステイ受入れ

- ①平成17年度 2005年6月7日～6月30日
(24日間) (アメリカ・テネシー)
- ②平成21年度 2009年6月8日～7月7日
(30日間) (アメリカ・テネシー)



エ その他

- ①わくわくスポーツ教室
平成17年3月27日
(淡路島北淡グラウンドにて)
特別講師：本並 健治(元Jリーグ、
日本代表) ゲスト：なかやま
きんに君(吉本興業)

- ②第11回淡路島カラオケ大会
主催 生×カラ!TV協力店事務局
協力 財団法人 勤労青少年協会
平成17年8月28日(しづかホール)
- ③スーパーキッズボート体験乗船会開催
(後援事業)
2006マリンフェスティバルIN淡路島
平成18年5月5日、6日
開催場所
兵庫県南あわじ市神代浦壁大池
2007マリンフェスティバルIN淡路島
・マリンスポーツを通じて友達の輪を
広げよう!
平成19年5月5日
2008マリンフェスティバルIN淡路島
平成20年5月5日

- ④サンテレビ、カラオケ番組
(淡路大会)の収録を行う。
平成18年11月9日
*1月7日、4月～5月にかけて放映
☆会長自宅開放

- ⑤平成18年度英語教室開催
平成19年度英語教室開催
平成20年度英語教室開催
平成21年度英語教室開催



(6) 当協会の事業に御協力いただいた方々

当協会の活動は、下記の法人及び多くの個人の方々に支えられ運営してきました。感謝申し上げます。

(法人は、入金時の会社名を記載し、個人の方は、名前を記載していません。)

日本自転車振興会

(財) 日本船舶振興会

(株) 青木建設東京支社

(株) あさひ銀行

(株) 飯島製作所

(株) 偕行社

(株) 桑山

(株) 埼玉銀行

(株) さくら銀行

(株) 三和銀行

(株) シー・アイ・シー

(株) 住友銀行

(株) 太陽神戸銀行

(株) 高島屋

(株) 高橋写真

(株) タクマ

(株) 帝国ホテル

(株) 電通

(株) ナショナル印刷

(株) 日本香堂

(株) 日本軽金属

(株) 日本交通公社

(株) 日本債券信用銀行

(株) 白洋舎

(株) 服部セイコー

(株) 日立製作所

(株) 富士銀行

(株) 平和相互銀行

(株) 北海道拓殖銀行

(株) 三井銀行

(株) 三菱銀行

(株) 森長組

(株) リバティ・インターナショナル

(株) ロッテ

(財) 鉄道弘済会

(社) 日本海事検定協会

(社) 信託協会

(社) 生命保険協会

(社) 全国建設業協会

(社) 全国相互銀行協会

(社) 全日本検数協会

(社) 第二地方銀行協会

(社) 日本土木工業協会

(有) 野木タクシー

旭硝子 (株)

朝日石綿工業 (株)

東海運 (株)

アメリカンファミリー生命保険会社

入江三宅設計事務所

王子製紙 (株)

大阪ガス (株)

大阪トヨタ自動車販売 (株)

大林道路 (株)

沖電気工業 (株)

関西電力 (株)

九州電力 (株)

京浜急行電鉄 (株)

桜田機械工業 (株)

佐藤工業 (株)

三共 (株)

第一三共 (株)

山陽国策パルプ (株)

蛇の目ミシン工業 (株)

城南信用金庫

新日本製鉄 (株)

鈴木合金 (株)

全国共済農業協同組合連合会

全国自動車団体福祉協会

第一実業 (株) みのりの会

大日本インキ化学工業 (株)

大和工業 (株)

タキロン (株)
中部電力 (株)
月島機械 (株)
ティアック (株)
鉄建建設 (株)
東亜建設工業 (株)
東海カーボン (株)
東京ガス (株)
東京計器 (株) 健保
東京コークス (株)
東京トヨペット (株)
東光健康保険組合
東鉄工業 (株)
東燃タンカー (株)
東武鉄道 (株)
東宝 (株)
東邦生命保険 (相互)
東北電力 (株)
東洋建設 (株)
東洋信託銀行 (株)
東洋水産 (株)
東レ (株)
飛島建設 (株)
トヨタ自工 (株)
日産火災海上保険 (株)
日産自動車 (株)
日商岩井 (株)
日新火災海上保険 (株)
日新電機 (株)
日東ステンレス工業 (株)
日本アイビーエム (株)
日本紙パルプ商事 (株)
日本観光写真クーポン連盟
日本工営 (株)
日本鋼管 (株)
日本写真機工業会
日本精工 (株)
日本ゼオン (株)
日本石油 (株)

日本電気 (株)
日本ユニバック (株)
野村証券 (株)
日立造船 (株)
日野自動車販売 (株)
松尾橋梁 (株)
松下電器産業 (株)
三井金属鉱業 (株)
三井造船 (株)
三井不動産 (株)
三菱鉱業セメント (株)
三菱重工業 (株)
三菱商事 (株)
三菱電機 (株)
明治乳業 (株)
安田信託銀行 (株)
山之内製薬 (株)
横浜ゴム (株)
(株) 油屋
(株) ヘルスシティ
(株) 志田建設興業
田中伶子クッキングスクール

当協会の取引金融機関

中央三井信託銀行
淡陽信用組合
三井住友銀行
ゆうちょ銀行